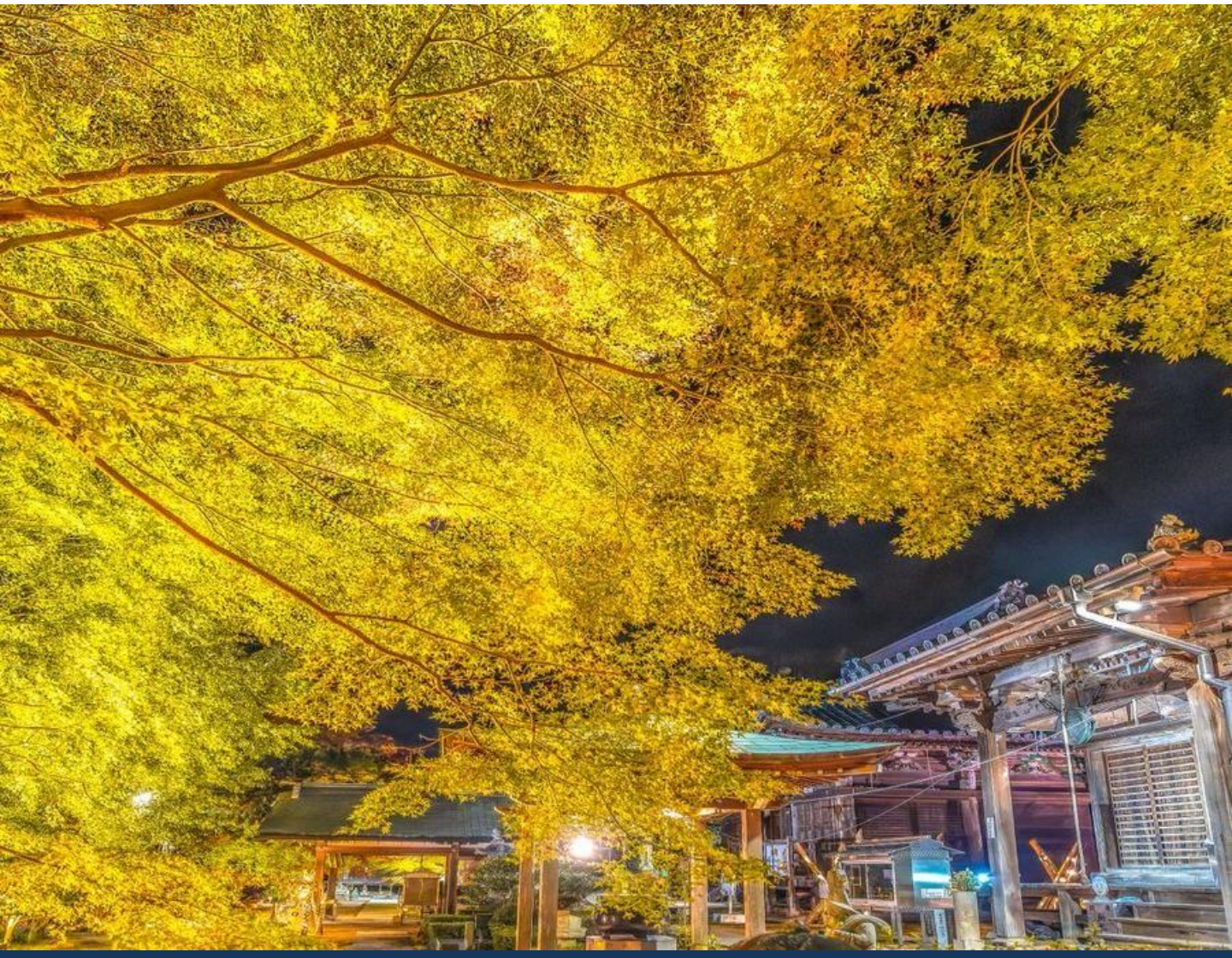
せとうちDMO NEWS Vol. 124



撮影場所　香川県坂出市　四国霊場第81番札所　白峯寺

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”　世界が憧れるせとうち

ABOUT US

美しい海に浮かぶ700以上の島々、そして豊かな里山が織りなす景色が多くの観光客を惹きつける「せとうち」。せとうち観光推進機構と瀬戸内ブランドコーポレーションからなる「せとうちDMO」は、広域観光戦略の先導役として、地域の皆さまと一緒にせとうちエリアの活性化に取り組んでいきます。

一般社団法人
せとうち観光推進機構

株式会社
瀬戸内ブランドコーポレーション

CONTENTS

Monaco Yacht Show 出展　p1
GSTC研修開催　p2
VISIT JAPAN トラベル＆MICE参加
Vinoble Vineyard 投資　p3
SUPER YACHT BASE KOBE投資
「新・せとうち風景30選」選定委員会出席　p4
せとうちアカデミー報告

発行日　2026年11月11日

Monaco Yacht Showに3年連続で出展しました

9月23日（水）～26日（土）までモナコ公国で開催された「Monaco Yacht Show 2026」に今年も出展しました。3年連続での参加となります。

モナコヨットショーは、世界中からスーパーヨットのオーナーやキャプテン、ブローカー、マリン関連事業者などが集まる、世界最大級のスーパーヨットのイベントです。会期中、会場には100隻以上のスーパーヨットが展示され、とても華やかな雰囲気でした。



▲会場に展示されていたスーパーヨット

【参考情報】（Monaco Yacht Show HPより抜粋）
来場者数：30,678人　出展者数：560社　展示されたヨット数：118隻

ヨットショーで数少ないデスティネーションブースとして出展したせとうちブースでは、せとうちの多島美や食、文化などを紹介し、スーパーヨットの寄港地としての魅力をPRしました。

ブースに立ち寄った方には、岡山の特産品であるシャインマスカットと日本酒の試食が大変好評で、特にマスカットは、「これは本当にブドウなの？」「こんなに大きな粒は見たことない！」と驚いていました。
（ちなみに、海外のブドウは、果実よりも果汁を味わうようです。）

せとうちブースには、4日間で300人以上が訪れてくださり、様々な国の方々と交流が進み、日本への関心、今後の訪日意向などの貴重な情報を得ることができました。





▲せとうちブースの様子

ブースでの来場者アンケートは、回答者32人のうち27人が日本への訪問予定があることやスーパーヨットでの寄港で楽しみたいこととして、食事や文化・歴史施設の訪問などが挙げられました。せとうちが誇る豊かな食や歴史・文化は、海外のヨット関係者にとっても魅力的な旅の楽しみとなる可能性があります。

また、神戸の新しいマリーナである「SUPER YACHT BASE KOBE」のPRも行いました。アンケート回答者の約半数がマリーナのことを知っており、開港後、多くのスーパーヨットが寄港してくれるのではないかと期待が高まりました。



「持続可能性」の視点で観光を考えるーGSTC研修を開催しましたー

9月30日(水)～10月2日(金)の3日間、兵庫県姫路市でGSTC研修を開催し、エリア内の自治体や観光協会・DMOなどから27人が参加しました。

GSTCは、環境だけでなく、地域の文化や暮らし、観光による経済効果なども含め、観光地の持続可能性を幅広く捉える国際的な基準です。日本でも、この考え方を踏まえた「JSTS-D（日本版持続可能な観光ガイドライン）」が策定されています。

研修ではGSTC公認トレーナー 大岩 直美様による座学に加え、姫路城と歴史的町家「小倉屋」でフィールドワークを行いました。姫路城では文化財の保全や防災、外国人旅行者への対応を、小倉屋では伝統建築の保護と活用（城下町への誘客や学び・情報発信の場）を両立する取組について理解を深めました。

フィールドワーク後には、GSTCの基準に照らして両施設を評価し、「できていること」だけでなく「さらに何ができるか」を参加者同士で議論しました。普段は観光地の魅力という視点で捉える施設を、持続可能性という視点から見つめ直すことで、多くの気付きや課題を共有する機会となりました。

今後も、せとうちサステナブル協議会を中心に、JSTS-Dの取得支援や先進事例の共有を図りながら、国際的にも認められる「サステナブルなせとうち」の実現を目指します。







VISIT JAPAN トラベル & MICEに参加しました

9月24日（木）～26日(土) の3日間、日本で開催される国内最大級の旅行商談会「 VISIT JAPAN トラベル & MICE」が東京ビックサイトで開催されました。

せとうちDMOは売り手(セラー)として参加し、日本旅行への関心が高い海外の旅行会社(バイヤー)に向けてせとうちの魅力・商品をPRしました。今回は欧米豪を中心とした計29社と商談し、「日本の伝統・景観」と「せとうちならではの体験」を組み合わせたプランを各バイヤーのニーズに合わせて提案しました。

商談では、刀作り体験・ガンツウ・しまなみ海道サイクリングなどが高い評価を得た一方で、直島における宿泊施設の手配（不足）に関する要望など率直な意見をいただき、販売戦略を練り直す貴重な機会となりました。



Vinoble Vineyard へ投資を行いました

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション（以下「SBC」）が管理を受託し、株式会社せとうち観光パートナーズが運営するファンド「せとうち観光活性化2号投資事業有限責任組合」は、株式会社Vinoble Vineyard（以下「Vinoble Vineyard」）への投資を実行しましたので、お知らせします。

Vinoble Vineyardは、広島県三次市で、ぶどう栽培からワインの醸造・販売までを一貫して手掛けるワイナリーです。広島県三次市の昼夜の寒暖差や比較的冷涼な気候に適した栽培方法を追求し、高品質な国産ワインの製造・販売を行っています。また、ぶどう園の設計・施工、栽培指導、醸造指導にも取り組み、ワイン産業を支える専門性を有しています。Vinoble Vineyardの「Sauvignon Blanc 2021」は、International Wine & Spirit Competition 2022において世界最高得点にてGold（95点）を受賞し、国際的な評価を得ています。今回の投資を通じ、Vinoble Vineyardが進めるブランド認知の向上と販路拡大を支援します。

企業名	株式会社Vinoble Vineyard（ビノーブルビンヤード）
所在地	広島県三次市大田幸町488番地2
ワイナリー	広島県三次市四拾貫町1371
代表者	代表取締役　横町 崇
事業内容	ワイン製造・販売、ぶどう園の設計・施工、ぶどう栽培・ワイン醸造の指導など
設立	2018年1月
ウェブサイト	https://vinoble-vineyard.jp/



提供：株式会社VinobleVineyard

SUPER YACHT BASE KOBEへ投資を行いました

「せとうち観光活性化2号投資事業有限責任組合」は、SUPER YACHT BASE KOBE株式会社（以下「SUPER YACHT BASE KOBE」）へ投資を実行しましたので、お知らせします。

SUPER YACHT BASE KOBEは、兵庫県神戸市中央区で、日本でも有数のスーパーヨットに対応する都市型マリーナを造成・運営します。このマリーナは、世界や瀬戸内を繋ぐ拠点として計画され、国内外からのスーパーヨットを含めたラグジュアリーボートを誘致していきます。高付加価値旅行者だけでなく、訪れる人々やクルーが交流できる環境を整え、日常からマリン文化に触れる機会を提供することで、地域に賑わいを創出します。また、「EAST GATEWAY」としてスーパーヨットはもちろん、国内外のプレジャーボート（小型船舶）においても、訪れる人々が瀬戸内各地をクルーズできる拠点として、上質なクルージング環境の提供を目指します。

SBCは引き続き、寄港地及び観光コンテンツ開発を後押しし、同社の成長と、クルーズを通じ神戸を起点とした地域の魅力向上および観光消費の拡大に貢献してまいります。

企業名	SUPER YACHT BASE KOBE株式会社（スーパーヨットベース神戸）
所在地	兵庫県神戸市中央区新港町11番１号
代表者	代表取締役　平　拓也
事業内容	マリーナ運営管理事業
設立	2025年３月
ウェブサイト	https://syb-kobe.jp/top/

SUPERYACHT BASE KOBE
提供：SUPER YACHT BASE KOBE株式会社

令和8年度「新・せとうち風景30選」選定委員会に出席しました

10月6日（火）、令和8年度「新・せとうち風景30選」選定委員会が開催され、委員として当機構の事業本部長・坂元が出席しました。

本事業は、公益社団法人瀬戸内環境保全協会の設立50周年記念事業として実施されているもので「自然と人々の営みが融合して形成された瀬戸内海の風景」をテーマに、①豊かで美しい里海、②自然景観、③文化的景観の3つの視点から風景を募集するものです。今回の選定委員会では、各府県から推薦された風景について審査を行い、「50年後に残したい瀬戸内海の風景」として30カ所を選定しました。

選定された風景は、11月13日（金）に開催される瀬戸内海環境保全協会50周年記念式典で発表・掲示予定です。どんな風景が選ばれたのか、発表が楽しみですね。

せとうちアカデミー報告

第142回：最新データで読み解く国内宿泊旅行市場と、せとうち観光のこれから ―旅行者の満足と住民の愛着から考える、選ばれる地域のヒント―

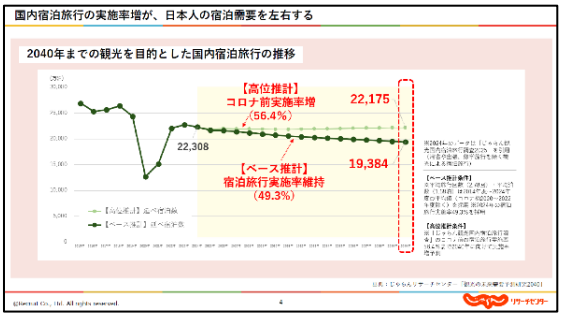
今回のせとうちアカデミーでは、株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター研究員池内摩耶様を講師にお迎えしました。

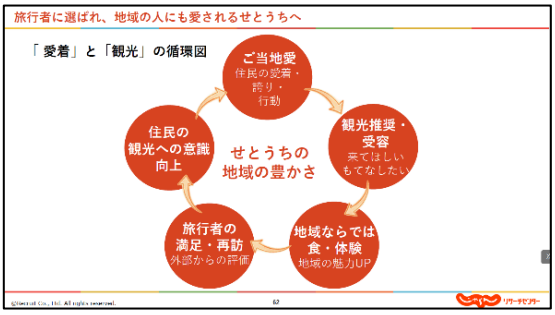
インバウンドが今後さらに地域経済の重要な市場となる一方、地域が持続的に成長していくためには、足元の国内旅行需要にも向き合い続けることが欠かせません。本講演では、「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2026」の最新結果をもとに、国内宿泊旅行市場の変化について、せとうち7県の状況を中心に、それぞれの地域の特徴や強みをお伝えいただきました。

さらに、住民の地域への「愛着」にも着目し、住民が地域に愛着を持ち、自分の地域を薦めたいと思える地域ほど、旅行者の満足度も高まる傾向があることが分かりました。旅行者から見て魅力的な地域であることに加え、住民自身が「薦めたい」と思える地域であることの両面から、これからの観光地域づくりに必要な視点を教えていただきました。

◆講師：株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター　研究員池内摩耶氏
◆日時：2026年9月17日(木) 14:00～15:00







編集後記

今月号の表紙は、白峯寺の夜間特別拝観ライトアップです。境内を彩る紅葉が幻想的にライトアップされ、昼間とはひと味違う美しい風景を楽しむことができます。今年も11月13日（金）～29日（日）に開催予定とのことですので、特別なひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。